



市政をズバリ問う 一般質問

本定例会での一般質問は、9月13日から15日までの3日間行われ、9人の議員が質問しました。
その質問と答弁の要旨をお知らせします。
※原稿は議員本人によるものです。

ひとりでもできる生涯学習 図書室のネットワーク化は

北島スエ子 議員

問 中央公民館図書室を、自宅からでも検索し申し込めるインターネット接続はできないか。

教育長 インターネット

接続には決して反対ではない。しかし、財源の問題等々とらみ合わせて検討したい。

問 市長の優先政策である図書サービスをインターネット接続し、筑後市の隅々まで行き届く政策を。

市長 さらに図書の必要性を認識した。全部長でなる政策会議で検討する。

問 図書室が図書ボランティアを育てる講座をする気はないか。

中央公民館事務長 ボランティアの育成は大変重要。すぐにも取り組む必要がある。しかし、図書室がボランティア講座するにも手間と費用が必要。ボランティアによるボランティア講座を期待している。

高齢者・ 児童の虐待対策は

問 高齢者が高齢者の介護を担い長期にわたるケースが増えている。介護者が気持ちのゆとりを持ち介護できる政策があれば虐待が減るのでは。

市長 虐待を解決する妙案というものを持ち合わせていない。地域全体で包み込む姿勢が大事。

問 高齢者も児童虐待も同

じで、保健師の家庭訪問活動で早期発見ができるのでは。

健康づくり課長 訪問活動で虐待の7割を発見しているというデータがでてくる。積極的に訪問活動をしたい。

問 児童虐待の相談件数は昨年より大幅に増えている。今、相談日が週に4日。週に5日に増やせないか。

福祉事務所長 全体の機構改革で考えたい。



中央公民館図書室